

2016年9月



# 原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## ヒバクシャ国際署名すすめよう

### 2016世界大会に5500人

2016年原水爆禁止世界大会に大阪から国際会議に3名、広島大会に316名、長崎大会に7名が参加し、世界大会成功に大きな役割を發揮しました。被爆者は過去最多の7名が参加、大学生・高校生が30名と若い世代の参加も増えました。参加者の約半数の150名が「初めての参加」と答えており世界大会が平和運動の大きな学習の場になっていることを示しました。

「青年のひろば」

被爆者が大奮闘

分科会「青年のひろば」に参加された寝屋川の被爆者四名の方が大奮闘さ

れました。当初は、松山

五郎さんでしたが、急き

よ山口寿美子さん、山下

しのぶさん、今井セイ子

さんも被爆証言を各青年

グループで行いました。

「緊張しましたが、青年

がしっかり聞いてくれ、

こちらが励まされまし

た」の感想でした。

国連代表・各国代表

参加に感動の声

壇上にキム・ウオンス



☆2016原水爆禁止世界大会・広島大会のフィナーレで We shall overcome を熱唱し、連帯誓う海外代表



☆大阪民医連提供のタオルで「ハイ、ポーズ」の大阪代表団のみなさん

大阪からの参加者316名は、8月4日午後「大阪代表団結団式」を行いました。岩田理事長から「この世界大会は、核兵器禁止条約の作業部会と連動した核兵器廃絶に大きなステップとなる世界大会です」の挨拶がありました。その後参加者は大阪民医連からプレゼントされた「守ろう憲法！なくそう核兵器」の書かれたタオルをかかげてのポーズで撮影。その後も各グループで写真が撮られ、大会参加の決意を固めました。

国連代表  
メキシコ  
外務副大  
臣、マレ

広島被爆者  
七団体は訴える

この世界大会で各団  
体から強調されたこと

は、「ヒバクシャ国際署名を集めよう」でした。閉会集会では、広島被爆者七団体の代表が壇上に登場しました。広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦さんは「私たちの最後の力をふりしぼって取り組むこの署名は、必ず核兵器のない世界を創りだせると信じています。みなさん、全力でがんばりましょう」と、訴えました。全国からの活動報告では、自治体、生協、原水禁、創価学会などの団体と一緒にとりくんでいた。報告が続きました。

# 核兵器禁止条約への大きなステップに



☆阪口伸六・高石市長

阪口・高石市長は、8月6日の閉会総会で全国の自治体首長を代表して、発言しました。原爆資料館のオバマ大統領の折鶴の印象、友人の被爆者や被団協・坪井代表との交流や、平和行進の山口逸郎さんの思い出などを発言。「高石市は6万人の小さな街です。それでも平和行政を大切にすることが大事です」と、参加者に訴えました。阪口市長は、国民平和大行進を先頭に立って迎え、自ら行進参加者にお茶をふるまい、共に行進する市長として有名です。



☆キム・ウオンス国連軍縮担当上級代表

キム・ウオンス国連軍縮担当上級代表は、6日閉会集会で演説しました。セルジオ・ドアルテ上級代表、アンゲラ・ケイン上級代表に次いで世界大会に参加する国連代表です。「私は、パン・ギムン国連事務総長のメッセージを持って、この世界大会に参加しています。みなさんのような市民社会での核兵器軍縮の取り組みは、国連に加盟する多くの国々を励ましています」の演説に、参加者から大きな拍手が送られました。



☆被爆者・松本秀子さんの被爆証言

広島在住の被爆者・松本秀子さんが被爆証言を行いました。「よく晴れた8月6日、月曜日、女学校の校舎でお友達とおしゃべりしていました。その時、……爆風と同時に粉々になったガラスを右の顔や肩に受け、血を流しながら外に出ました。家に帰る途中御幸橋付近で見たものは、体、皮膚まで焼きさかれ、垂れ下がり、変わりてた姿の人たちであふれ、地獄そのものの光景でした」。会場は静まり返り引き込まれていきました。



☆「ヒバクシャ国際署名」を訴える京都の仲間

京都の被爆者・花垣ルミさんと「被爆者2世、3世の会」が活動を報告し、「ヒバクシャ国際署名」の推進を訴えました。「京都被爆者2世・3世の会」は、被爆者の証言を聞き取り記録にまとめ、記録集を発行しようと活動しています。会員は40名になり、賛助会員も40名となり年々活発に活動しています。広島で被爆した花垣ルミさんは、「被爆して71年たっても被爆者は原爆症を恐れ、不安な日々を送っています。核兵器のない世界は私たちの願いです」と、訴えました。

「深く大きく学びたい」ができた」の感想文へ